

# 高低圧用検電器音響発光式 HSF-7型 AC80~7000V

高圧配電線路用携帯形検電器安全指針  
(労働省産業安全研究所 RIIS-TR-85-2) 準拠

## 《試験成績書》

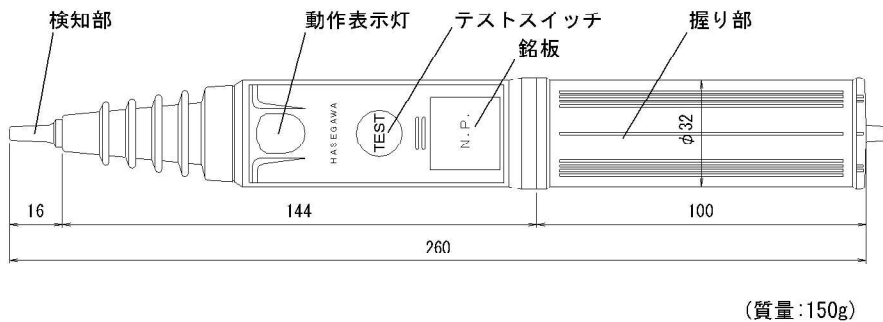
1. 外観・構造試験(キズ、汚れ、誤記がないこと)	良	承 認	担 当
2. 絶縁耐力および漏洩電流試験 AC20kV 1分間 漏洩電流 1mA 以下	良		
3. 動作試験 断続音光開始電圧 65V±15V 以内 連続音光になる電圧 300V±50V 以内(裸線に接触)	良		
4. 総合判定	合格・不合格		

## 《取扱説明書》

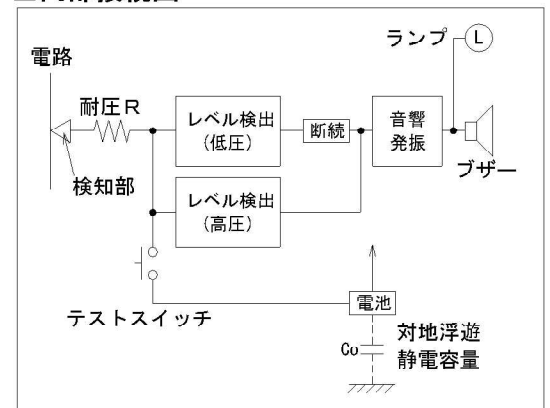
### ■定格および仕様

型 式	HSF-7型 (高低圧用、交流専用)	絶縁抵抗	検知部と握り部間、100MΩ 以上
使用電圧範囲	AC80~7000V 50/60Hz 共用	絶縁耐力	同 上 間、20kV 1分間
定格動作開始電圧 (対地電圧)	〔接触させて動作を開始する電圧がこの値以下〕 低圧(断続音光表示) 露出充電部: 80V 高圧(連続音光表示) 露出充電部: 400V 絶縁電線(φ5mm0E線): 3000V	漏洩電流	絶縁耐力時 1mA 以下
		動作表示	発光
			発音
定格不動作距離 (対地電圧 4kV)	〔電線(150mmφ)に接近して動作しない距離〕 断続音光表示(低圧表示): 50cm 連続音光表示(高圧表示): 3cm	使用電圧範囲	-10℃~+40℃
		構 造	防滴構造(内部に有害な水が入らない)(IPX1 相当)
		使用電池	乾電池(L)R03 1.5V 2個(単4型) 電池寿命 連続動作状態 6時間(新品電池にて)

### ■外形構造



### ■内部接続図



### ■動 作

#### ●テストスイッチを押したとき

○→正常  
×→不良

○	.....	断続音光(1~6回)から連続音光になる	電池等正常
×	.....	数秒間押し続けても連続音光にならない	電池が消耗、又は内部電子回路不良
×	.....	断続せずに最初から連続音光	内部電子回路不良

#### ●検電時の動作

電路に接触して検電				
低 圧	高 圧 (3.3kV)		高 圧 (6.6kV)	
裸 線	裸 線	絶縁電線(0C)	裸 線	絶縁電線(0C)
.....断続音光	.....連続音光	.....断続音光	.....連続音光	.....連続音光

AC100V 非接地回路の場合は対地間電圧が50Vになるため検電動作しません  
この場合は弊社低圧用検電器 HT-680D、HT-670 をご使用ください。

この用紙は取扱説明書です。大切に保管してください。ご使用前に必ずお読みください。

(注)改良のため仕様を予告なく変更することがあります。

## 長谷川電機工業株式会社

本社・営業部 〒661-0976 兵庫県尼崎市潮江5丁目6番20号 Tel.06(6429)6144  
東京支店 〒103-0013 東京都中央区日本橋本町3丁目9番4号 日幸小津ビル7F Tel.03(3662)2715  
名古屋営業所 〒461-0044 愛知県名古屋市東区矢田東3番37号 Tel.052(725)6211

<b>警告</b>	<p>◎ケースにヒビ、カケなどがある場合は、絶対に使用しないでください。絶縁性能および検電性能に問題がある恐れがあります。</p> <p>◎使用前には必ず既知の電源で動作チェックしてください。 「TEST」は、電池等のチェックで検電器の試験ではありませんので、必ず検電器試験器や既知の電源で動作を確かめてください。(使用前点検：労働安全衛生規則第 352 条)</p> <p>◎検電の時は、必ず握り部を持って検電してください。感電の恐れがありますので、握り部以外は触れないでください。</p> <p>◎高圧検電時は、必ず高圧絶縁手袋を着用してください。(高圧活線接近作業：労働安全衛生規則第 342 条) 感電のおそれがあります。</p> <p>◎雨の中等、検電器の表面が濡れているときは、使用しないでください。感電のおそれがあります。</p> <p>◎AC7000V を超える電圧には絶対使用しないでください。機器の故障の原因となり、感電のおそれがあります。</p>
<b>注意</b>	<p>◎テストスイッチにより、発音・発光状態を確認してください。 動作しないとき、発音・発光が弱いときは、電池を取り替えてください。</p> <p>◎検電器を検電以外に使用しないでください。強い力が加わると故障、破損の原因となります。</p> <p>◎落下、下敷きなど衝撃や強い力が加わらないよう注意してください。強い力が加わると故障、破損の原因となります。</p> <p>◎使用温度範囲外では使用しないでください。正しい検電ができません。</p>

## ■使用方法

### 検電の前に

1. 外観、構造に異常がないか点検してください。異常が見つかった場合は、使用しないでください。
2. テストスイッチにより、発音・発光状態を確認してください。  
動作しないとき、数秒間押し続けても連続音光にならないときは電池を取り替えてください。
3. 「TEST」は、電池等のチェックで検電器の試験ではありませんので検電器試験器や既知の電源で動作を確かめてください。  
(使用前点検：労働安全衛生規則第 352 条)  
弊社検電器試験器 HLA-1A、HLL-1 をご使用ください。

### 検電

1. 握り部を手のひらでしっかり握り、検知部を電路に接触させて検電してください。  
このとき危険ですから握り部以外に触れないでください。  
高圧絶縁電線の被覆上から検電を行う場合は検知部を下図のように正しく接触させてください。



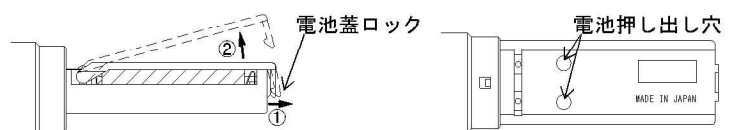
2. 高圧検電を行う際は、必ず高圧絶縁手袋を着用してください。(高圧活線接近作業：労働安全衛生規則第 342 条)

## ■検電時の注意

- 本器は高低圧用です、AC7000V を超える電路に対しては、危険ですから絶対に使用しないでください。
- 直流電圧、又はケーブル、コンデンサの直流残留電荷では動作いたしません。(但し、瞬間動作することはあります)
- AC100V 非接地回路では動作しないことがあります。動作しない場合は弊社低圧検電器 HT シリーズをお使いください。
- 高圧検電時は、アース側から検電対象物に近づけて検電してください。誘導による影響を少なくできます。
- 検電中には危険ですから握り部以外に触れないでください。
- 雨中では危険ですので使用しないでください。

## ■電池の取替え方法

- 発光が異常に暗くなったとき、またはテストスイッチを押しても連続音光にならないときには新しい電池に交換してください。
- 電池は(L)R03、1.5V 2個です。
- 握り部をまわして外す、電池蓋ロックを開放し、裏面の電池押し出し穴からドライバーなどで電池を押し出してください。
- 表示してある極性⊕⊖をよく確認して、交換してください。極性を逆に入れますと動作しないばかりでなく電池の漏液等故障の原因になります。



## ■保守・保管時の注意

- 夏期の路上、自動車の中、高温になる場所に置かないでください。
- 落下、下敷き等、衝撃や強い力が加わらないようご注意ください。
- 薬品等では拭かないでください。拭くときは、やさしい清潔な乾いた布などで拭くようにしてください。
- 冬期、屋内外の温度差が大きいとき、内部が結露する事がありますので、内部に水が附着していないか注意してください。内部に水が附着していると思われる場合は、使用を取りやめ屋内の乾いた場所で十分乾燥させてください。
- 保管する場所は、直射日光の当たらない、屋内の乾燥した所を選んで保管するようにしてください。
- 半年に1回程度、耐電圧試験装置により試験電圧 10kV 以上の定期自主点検を行ってください。(安全指針 RIIS-TR-85-2)
- 長期間使用しない時は、電池が漏液して本器の故障の原因となりますので、電池は取り外して保管してください。
- 本器を廃棄される場合は、産業廃棄物として処分してください。

### 関連規格

- 労働安全衛生規則 第 342 条 (高圧活線接近作業)  
労働安全衛生規則 第 352 条 (電気機械器具等の使用前点検等)  
労働省産業安全研究所 高圧配電線路用携帯形検電器安全指針 RIIS-TR-85-2

## ■保証について

本製品は、ご購入後、1年間保証です。  
保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合には無償で修理いたします。(電池などの消耗品の交換、補充は保証外) 但し、この保証は日本国内のみとさせていただきます。

本器の分解・改造はしないでください。分解・改造により生じる一切の事故には責任を負いかねますのでご了承ください。